

## 安全運転管理NEWS

車を運転しているときに、地震やゲリラ豪雨のような大雨に見舞われたときの対処方法について

### ◎ 運転中に地震が発生した場合

一般的に車の運転中は、地震の揺れは感じにくいとされていますので、運転中に揺れを感じたら、まず「大きな地震」と思ってください。

できる限り速やかに、ハザードランプを点灯し、減速して、車を路肩に停止させます。また、この際には「急ブレーキ」は禁物です。後続車から追突されることになりかねませんので注意してください。

停車後は、車内で待機し、携帯やカーラジオなどで、地震情報や被害情報などを確認してください。トンネルや橋梁で揺れを感じたら、可能な限りゆっくりと脱出します。

#### ・ 車から降りて避難する場合

周囲の道路が損傷したりして、走行できない場合は、エンジンを切って、窓を閉めて、エンジンキーはつけたまま(スマートキーの場合は車内に置いておく。)にして、ドアをロックせずに車から離れるようにしてください。

注意:「エンジンキーはつけたままにする。」この意味は、緊急車両の通行の妨害となっても移動することができるようにするためです。

### ◎ 車の運転中に豪雨に見舞われた場合

最近、「ゲリラ豪雨(大気的不安定な状態により突発的に起こる局地的な大雨のこと)」が発生したニュースを耳にします。このような豪雨では、瞬く間に水かさが増し、道路が冠水するなど非常に危険です。

車の運転では、冠水し易いアンダーパスを通行することを避けること、路肩に寄りすぎないように注意して、車速を低速に保ち走行してください。

特にアンダーパスは冠水し易く、行けるだろうと軽い気持ちで進むと、身動きがとれなくなってしまうことがありますので注意が必要です。

万が一、立ち往生してしまい車内に水が入ってきたら、落ち着いて行動することが大切です。シートベルトを外し、ドアを開けて避難してください。この際、ドアが開かない場合は、窓をあけて避難します。もし、窓もあかない場合は、フロントガラスではなく、サイドガラスを割って脱出してください。このような場合に備えるため、緊急脱出用ハンマーを車内(運転席から手の届く場所)に常備しておく必要があります。また、殆どの緊急脱出用ハンマーにはシートベルトカッターが付いていますので、交通事故等でシートベルトが外れなくなったときの備えにもなります。

#### ※ アンダーパスとは？

立体交差で、掘り下げ式になっている下の道路、鉄道や道路の下を通る地下道のことを「アンダーパス」と言います。

#### ※ 関連の貸出用教材用DVD(会員事業所に無償で貸し出しています。)

- ・ 災害時、ドライバーはどう生き残るか
  - － 忘れない！東日本大震災が教えてくれたこと －
- ・ 夜間・雨天時に潜む危険
  - － その特性と安全運転のポイント －